

盛夏随想

東北唯一，医療系学部を持つ私立総合大学の学長になって

加賀谷 豊*



通算して35年間にわたり勤務した東北大学を定年退職し、東北文化学園大学の学長に就任して2年と数か月が過ぎました。当初は慣れることに精一杯でしたが、比較的時間には余裕がありました。ところが自分で物事を色々変えようとした途端に急に忙しくなり、その忙しさにもようやく慣れてきたところです。大学周囲の環境はとても気に入っていて、今、原稿を書いているさなか、外からは鶯の鳴き声が聴こえてきて癒されます。

東北文化学園大学という私立総合大学

学校法人としては1978年に開設された専門学校が本学園の前身ですが、東北文化学園大学は4年制の総合大学として1999年に開学しました。医療系の学部を持つ私立の総合大学としては、東北で唯一です。仙台駅からJR仙山線で14分の国見駅の正面に緑豊かな本学のキャンパスが広がっています。春には学生がキャンパス内の満開の桜

を楽しんでいる様子を目にします。総合大学の強みを活かして、人文科学系，社会科学系，工学系そして医療系の学生が混じり合ってグループ・ディスカッションを重ねる機会を設けています。これにより，広い視野を持ち多様な価値観を許容できる人材の養成を目指しています。また，本学の教員一人当たりの学生数は約14人であり，他大学に比べて教員数が多くなっています。そのため，アドバイザー教員制度による学生支援がしやすい基盤が整っています。東洋経済新聞社が実施した「進路指導教諭が選ぶ教育力の高い大学ランキング」では，東北の私立大学でNo. 1に選ばれています。さらに，本学は女性教員の占める割合が44%と高いのも特徴です。大学の運営に多様性を活かしていけるのは大きな強みです。

2021年に学部が改組され，現在は現代社会学部，経営法学部，工学部，医療福祉学部の4学部と大学院から構成されます。現代社会学部は社会学専攻と社会福祉士や精神保健福祉士などの養成を目指す社会福祉学専攻からなり，工学部には知能情報システム学科，建築環境学科，臨床工学科の3学科が配置されています。医療福祉学部は理



キャンパス風景

*東北大学医師会（東北大学名誉教授，東北文化学園大学学長）

||||| 盛夏随想

学療法学専攻, 作業療法学専攻, 言語聴覚学専攻, 視覚機能学専攻の4専攻が所属するリハビリテーション学科と看護学科からなります。

医療従事者の養成大学として

本学では、医療系の学科・専攻に所属する学生が全体の約半分を占めます。工学部に属する臨床工学科は、日本で最初の臨床工学技士養成校である本学園の専門学校を前身としており、東北6県で働く臨床工学技士の過半数が本学園の専門学校、もしくは本学の卒業生です。理学療法学専攻は、東北で最長の歴史を持つ理学療法士を養成する4年制課程であり、東北で1位となる約1,500名の卒業生を輩出しています。作業療法学専攻は、東北で最初にできた作業療法士養成校である専門学校時代を含めると東北では1位、全国でも2位となる約1,400名の作業療法士をこれまでに養成しています。言語聴覚学専攻は、東北最初の4年制大学の言語聴覚士養成課程であり、小児発達障害の専門クリニック（国見の杜クリニック）をキャンパス内に併設しています。視覚機能学専攻は、東北・北海道で唯一の4年制の視能訓練士養成校であり、眼科医も教授の一人として教育に携わっています。看護学科は2010年設置の比較的新しい学科です。経験豊富な多くの指導教員を擁し、2022年度卒業生の看護師国家試験の合格率は100%であり、これは宮城県内の大学、短大では唯一です。このように本学は東北の医療従事者養成に大きく貢献してきた自負があります。また、宮城県医師会会員の皆様に多くの本学卒業生がお世話になっておりますことを感謝いたします。

大学院の健康福祉専攻にはナース・プラクティショナー養成分野が設置されています。最近、ナース・プラクティショナーが医療に介入することにより、患者さんの入院経過が改善するとの報告が散見されるようになりました。また、あるテレビドラマでナース・プラクティショナーが取り上げられたこともあり、一般の方の認知度もかなり上がったのではないかと思います。現在、宮城県内の医療機関はもちろんのこと、全国の病院などで多くの本学修了生が活躍しています。今後、ナース・プラクティショナーが力を発揮できる環境

が一層整うことを願っています。

人生初のバス通勤

本学はJR仙山線国見駅の正面にありますので、多くの学生と教職員は電車に通っています。一方、私が住んでいるところからは市営バスが便利なので、毎日かつての勤務先である東北大学星陵キャンパスを眺めながら通勤しています。なかなか運動する機会がないので、朝は早めに家を出て遠回りをしてバス停に行き、バスから降りてからも少し遠回りをして大学まで歩きます。帰りも大学近くのバス停まで遠回りし、家に近いバス停より手前で降りて歩数を稼いでいます。妻からは、不審者と間違えられるからやめなさいと何度も言われています。ときどき星陵キャンパスの近くで横断歩道の信号待ちをしているかつての職場の同僚を車中から見かけることがあります。歩行者がバスの乗客の顔を気にかけることはないようで、一度も気づかれることはありませんでした。バスは八幡神社の西側の狭い曲がりくねった坂道を通りますが、対向車線に大きくはみ出ないと曲がることできません。運転手の高度なテクニックに感謝すると共に、バスのためにカーブの手前で止まって待ってくださる対向車のドライバーのマナーに感謝する毎日です。このバスには宮城第一高等学校と仙台高等学校の生徒がよく乗っていますが、この2校は本学への進学実績のある高校です。18歳人口が減少するなか入学者の確保に努めている大学の学長としては、彼ら彼女らに失礼がないように気を使いながら乗車しています。

東北のために

今後、東北地方の18歳人口は全国平均に比べて、より急速に減少していくことが予想されています。そのなかで宮城県だけは全国平均に比較的近い減り方のようなのですが、本学は東北の他の5県からも多くの学生を受け入れています。本学の教育の質を高めつつ、その魅力を高校生に伝えていき、引き続き医療分野を含め東北を微力ながらも支えられるよう人材を集め、そして育てていきたいと考えています。